

第2回藤沢市地域経営戦略100人委員会

と き 2009年（平成21年）9月20日（日）午後2時～

ところ 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス

- 1 開会

- 2 新総合計画策定の取組状況について

- 3 地域経営戦略100人委員会の活動について
 - (1) 「総合計画」の概要と「地域経営戦略100人委員会」の役割について

 - (2) 今後の活動内容とポイントについて

- 4 「基本構想」の素材検討②「30年後の藤沢らしさ」

- 5 次回以降の予定について：「ふじさわ未来課題」の棚卸し活動

- 6 地区別課題と領域別課題について

事務局

ただいまから第2回藤沢市地域経営戦略 100 人委員会を開催させていただきます。

本日はお休みの中にもかかわらずお集まりいただき、まことにありがとうございます。今回は会場の都合もあり、この慶応義塾大学湘南藤沢キャンパスをお借りして会議を開催させていただきました。ご来場にご不便をお掛けいたしましたに申し訳ございませんでした。改めてお詫びと感謝を申し上げます。

(日程・取材・資料等の確認)

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

事務局

本日、急遽、海老根市長も参加させていただいておりますので、ひと言ご挨拶をいただきたいと思っております。

海老根市長

皆さん、こんにちは。今日はお休みのところ、第2回の100人委員会にご出席いただき、本当にありがとうございます。私は、昨日、おとといと浜松に行つてまいりまして、モザイカルチャー世界博 2009、いわゆる立体花博を見てまいりました。実は、このモザイカルチャーには、藤沢市も出展しております。モザイカルチャーというとは分かりづらいかと思いますが、いろいろな草や花を使って、立体的に様々なものを表現したものであります。この国際博の紹介には、秋篠宮殿下・紀子様もお見えになられておりまして、藤沢市は江の島と灯台をモチーフにしたデザインを出展しております。25の国と97の都市が競つて出展をしております。季節的にもよい時期でありますので、ぜひ皆さんもお時間があれば足をお運びいただければと思います。そして夜は、このすぐ近くでもあります宇都母知神社のお祭りに呼んでいただきました。収穫の秋でもありますし、本当によい季節であると感じています。そのような中でお集まりいただき感謝申し上げます。また、会場の提供や準備をいただいた慶応義塾大学の皆さんにも感謝を申し上げます。この後30年後の藤沢を、いろいろな意味で考えていただきますし、鶴沼のニコニコ自治会の活動も報告をいただいたところでもあります。こういった場が、皆さんの地域や活動でのまちづくりの参考になればと思います。これからも多くのご意見やご提案をいただきたいと考えております。まだ2回目ですが、活発な議論の展開をよろしく願います。

事務局

それでは、次第に沿いまして「新総合計画の策定の取組状況」について長瀬経営企画部長より、ご説明します。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

長瀬経営企画部長

皆さんこんにちは。今日は皆さんでご議論をいただく前に、今までの総合計画の検討はどのようになっているのか、また、皆さんの議論がどのように反映されていくのかについてご説明したいと思います。第1回の会議終了後、皆さんから多くの意見を私のほうに寄せていただきました。藤沢市といたしましても、この皆さんの思いを骨太の仕組みに取り入れながら、地域のプロである皆

さんのご意見がより反映できる仕組みに変えながら進めて生きたいと考えております。それでは現状についてご説明しますと、庁内では部長級職員を中心に進めていく会議と、今日も参加しております若手職員の会議により、将来予測や藤沢の「強み」と「弱味」の検討をしております。また、この地域経営100人委員会での「藤沢らしさ」をはじめとして、地域経営会議でのご議論を含め、生活実感に溢れた個性ある意見をいただいております。これらの会議からのご意見をすべて総合計画審議会にお渡しして、基本構想に持っていくものと基本計画に繋ぐべきものとの仕分けを行っております。基本構想については、総合計画審議会の第3回から4回に、この意見に課題別分類を行ったものに切り口や軸を設定しながら、形にしていきたいと考えております。このために、仕組みについても若干変更をさせていただいたり、100人委員会の前に、まちづくり40分講座を設定させていただくなどして、地域まちづくりに効果のあるよう努め、また情報は共有と開示をしていきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。それでは、この後は玉村先生のほうからご説明をいただきます。

玉村コーディネーター 皆さん、こんにちは。ようこそSFCへ、また遠藤にお越しいただいてありがとうございます。私にも、前回、全体の進行や進め方への不安など、いろいろとご意見をいただきました。今日は大学ということもありますので、まず、100人委員会について学んでいただこうと思います。前回の100人委員会の際に、藤沢市はすごい挑戦をするんだということをお話しし、挑戦をするぞ、という声もいただきました。挑戦というと危ないことをするかと思われるかも知れませんが、市の職員も我々も一生懸命考えて行っています。総合計画について、簡単にご説明すると、総合とは「みんなで協力する」ということです。バラバラにはやらずに力を合わせていこう、ということです。総合計画をつくる背景としては、時代の変化があり、時代に対応するスピードももって臨むということが重要になります。今までと違う藤沢の挑戦のひとつは、総合計画をコンサルティング会社などにお任せをせずに、いろいろな人が参加をして、役割をもって、細かいことにもこだわって、総合計画つくっていこうというものです。皆さんに考えていただいた素材は、総合計画審議会で料理をして、また皆さんに味わっていただくということも行います。市民1000人討論という普段あまり市政や地域に参加していない人の声を聞いていこうということも行います。市役所の中の組織を変えていこう、地域経営会議もしっかりやっていこう、計画だけでなくきちんと実行していこうというものです。また、総合計画には、地域の特色を活かす入れ物をつくっていこうという意味もあります。行政では、総合計画はつくって終わりということがよくあります。進捗管理はやっていくが、決まったことしかしないという面もあります。ただ、今は先が見えない、やることが定まらない、変えていかなければいけないという時

代になっています。藤沢の挑戦の2つ目は「答えがないことをやっていく、失敗を恐れず、試行錯誤しながらやっていこう」ということです。行政経営ではなく地域経営に変わっていくと考えていただければと思います。総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画という3つから構成されます。今は、基本構想というものの検討をしています。未来の藤沢について、一生懸命考えていく、構想していくということです。30年先を敢えて見つめて、今何をすべきかを考えるということです。未来の子どもたちに、藤沢はこんななんだ、ここが藤沢らしいんだと言ってもらえるようなことを、がやがやと考えていただきたいと思います。基本計画は、基盤、土台となるものです。いろいろな人に課題を聞いて、それに挑戦していく、指標をつけてどこまでやるのかという設定をするということもします。実施計画は、この土台を誰が、どのように担っていくかということを示すものです。今日までは、基本構想を中心に、次回からは徹底的に、深く課題を見つけていく、丹念に調べていくという作業になります。総合計画審議会では、鮮度のいい素材を求めています。テレビで言われていることではなくて、皆さんが実感していることを、難しいことですが、出していきたいと考えています。様々な観点からの素材であることが必要です。そのために市役所や地域や、様々なところでお話しをさせていただいています。100人委員会の今お話しした役割である、鮮度の良い、なるほどと思える素材をたくさん提供いただくことです。まとめる必要はありませんが、磨きをかけていくことはしていきます。また、課題について、マイナスをプラスに、プラスをもっとプラスにするなどを課題としますが、それらを見つけて重要さや順位付けなどを行っていきます。今の藤沢らしさを今日まで検討をいただきました。今日は未来の藤沢らしさを検討していただきます。前回の記録をみたり、発言をご紹介しながら進めたいと思います。何故、30年かという、藤沢市が100周年であることと、世代が交代するタイミングであることが理由です。是非未来の世代に藤沢を伝える作業をお願いしたいと思います。最後に40分講座のお話しですが、平日の夜などに学習会をしたり、分科会をしたりという展開をしたいと考えています。希望等があれば、お手紙を出して募りたいと思っています。

(質疑)

委員

結構なお話をいただきましたが、将来を語るに当たって、過去の実績の評価なくて先に進めるのが疑問です。過去と将来の関連性というものも考える必要があると思いますので、施策の評価を聞きたいので、提出をお願いしたいと思います。

長瀬経営企画部長 現在の総合計画の検証はさせていただいておりますので、それらをご提供したり、皆さんの目線で検証をいただいたりという機会を持ちたいと思います。

玉村コーディネーター 総合計画の評価は行政で行っているのですが、今後そういったお話しのお機会

を期待したいと思います。

玉村コーディネーター 次の議論に移る前に、前回の会議の記録について配布していますので、確認してください。この後移動して、グループになっていただきますが、封筒の番号のテーブルに、最初は座っていただきます。ワールドカフェはリラックスして楽しくお話しをいただくことが大切です。カフェを進めていただいた後に、課題やいろいろなこととお話しいただく時間も用意します。楽しい気持ちでカフェに乗り込んでください。

(30年後の藤沢らしさカフェ会場に移動)

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

樋栄さん 皆さん、こんにちは。よろしくお願ひします。それでは、皆さんでアイデアを出していただいたり、ひろげていただくことを進めていきたいと思いますが、はじめての方もいらっしゃると思いますので、簡単にワールド・カフェのご説明をさせていただきたいと思ひます。ワールド・カフェは、リラックスして進めていただくことが第一です。テーブルの上の模造紙に心のつぶやきや思いついたことを自由に書いていってください。今回は、「30年後の藤沢らしさ」がテーマですが、漠然としてしまうといけないので、テーブルに8つのテーマを置いてあります。もちろん、その他のテーマ、皆さんで思いついたテーマであっても構いません。ひとつテーマをお決めいただいて、ホストお一人お決めください。ホストの方は皆さんのお話しをまとめながら、進めてください。後で席替えをしますが、その際にホスト以外の移動される方が分かりやすいようにテントカード(机の上の札)にテーマを書いておいてください。もう一度いますが、これからの1時間は、皆さんの頭の中にあることを、どんどん出していただく時間です。ホストを決めていただいて、自己紹介をした上で、お話しを進めてください。テーマはホストの方が決めていただいても構いません。

(グループでの「30年後の藤沢らしさ」話し合い)

樋栄さん それでは、ホストの方以外はお席を移動してください。テントカードに書かれているテーマを見て、ご自身がお話したいテーマのところに移動してください。第2回目をはじめます。ホストの方は先程どのようなお話しがあったかを説明してください。その後、自己紹介をしていただいてスタートです。

(グループでの「30年後の藤沢らしさ」話し合い)

樋栄さん それでは、最後の席替えをしてください。今まで、2回アイデア出しをやっていただきましたが、最終回になりますので、7分ほどアイデア出しをやっていただいて、最後の6分間で、今までの内容を収束する、まとめの活動をみんなで行っていただいて、まとめの用紙に記入してください。

(グループでの「30年後の藤沢らしさ」とまとめの話し合い)

樋栄さん それでは皆さん、お疲れさまでした。まだまだ、お話しは尽きないと思ひま

すが、これで終了とさせていただきます。ありがとうございました。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

玉村コーディネーター この後の時間は、これから次回以降に行う課題についての話し合いです。今までも地域や領域での課題の洗い出しをしていただきましたが、今日はどのようなものが出ていたかを確認していただいたり、今後どのような話をしたら良いかなどを、地域と領域で短い時間ですが、お話しをしていただければと思います。この新しいメンバーで今後、話し合いや様々なことを調べるという活動に入っていただくこととなりますが、今日は顔合わせが中心で構いません。最後にシートを記入して、今日の発言をまとめてください。皆さんにお願いですが、市の職員の方も一参加者ですので、実感としての発言をして貰っています。市の公式見解ではありませんし、公式見解を引き出すこともできませんから、同じ仲間としてお話しをしてください。

(地域・領域での話し合い)

玉村コーディネーター それでは時間になりましたので、拍手をして終わりにしましょう。今後具体的な話ができそうだと、という期待を持っていただければと思います。

長瀬経営企画部長 お疲れさまでした。今度お集まりいただくのは、11月1日ですが、12地区の地域経営会議が10月に正式に発足しますので、100人委員会のメンバーも増えて、本格始動になります。また、今日始めて、地区と領域にでのお話し合いの時間を持ちましたが、是非お仲間と議論を深めていただいて、次回ご提案をいただければと思います。今日は本当にありがとうございました。

玉村コーディネーター 最後に宿題です。次回からは丹念に物事を調べるという作業に入ります。そのためには皆さんに感度が高めていただく必要があります。今日アンケートをお配りしましたので、日々メモをしていただければと思います。アンケートの取り扱いについては、次回開催通知と一緒にご案内します。日々の生活の中での長所や短所などへの感度を高めていただくということが宿題になります。

委員 今分かれて話し合いをしましたが、情報の共有をしたいので、各テーブルの内容はいただけますか。

玉村コーディネーター ご指摘の点は重要なことです。今後は時間の中で発表の機会を設けたり、横のつながりというものも大切にしたいと思います。

委員 早めに提供してください。

事務局 早めにご提供できるように努力します。

玉村コーディネーター それでは、事務局にがんばっていただくということで、今日は拍手で終わりたいと思います。皆さんありがとうございました。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

(閉会)